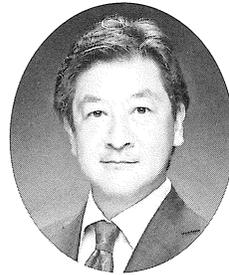




出版クラブ会報 No.627



先人のスピリットを見習い 私たちも常にチャレンジを

日本出版クラブ会長

野間 省伸

(のま・よしのぶ)

あけましておめでとうございます。今年(令和7年)は戦後80年に当たりま

す。先人たちは焼け野原の中から、出版界を再興しました。物資困窮、とりわけ紙不足のなか、出版事業を継続することがどれだけ困難だったことでしょうか。節目の年に業界の歴史に思いをはせることが重要だと考えています。苦難を乗り越えた先人たちのスピリットのなかに、いまの時代を乗り越えるヒントがあると思うからです。

さて、昨年は1月1日の能登半島地震に始まり、各地の大雨や台風など災害の多い1年でした。亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、御遺族と被災された方々にお見舞いを申し上げます。日本は地震をはじめ災害の多い国です。日本出版クラブでは昨年「震災対策室」を設置しました。被災地の「読書環境整備」と「子どもたちの夢の実現」のための読書支援事業を行っております。

能登地方の現地書店とも協力し、珠洲市、七尾市、能登町、穴水町へ本をお届けしました。豪雨による二次災害で大きな被害を受けた輪島市への寄贈も、今年の早い時期に実施する予定です。末長い取り組みにしたいと思っております。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

記念講演は社会学者であり、京都大学大学院教授の岸政彦様に「息を止めて海に潜る」と題してお話いただきました。その中で「紙の上に記された文字」すなわち「本」

にはできることがたくさんあるはずだ、という出版界への激励とも思える言葉をいただきました。このメッセージも深く心に刻まれています。本年、出版クラブビルは開館7年目を迎えます。当初より取り組んできました3階のクラブライブラリーでの「小さな本の展覧会」は少しずつ知名度が上がっており、一般のお客様のご来場が増えています。秋には日本書籍出版協会との共催で、「私たちの思い込み」に気づく本棚」と題した展示を行いました。ジェンダーをテーマとした展示は一年に続き2度目です。ジェンダー・ダイバーシティの推進は出版界の発展にとって極めて重要なことと考えています。今後とも、積極的にこの問題に取り組みで参りたいと思っています。

経産省がいま書店振興プロジェクトを推進しています。私が、私は同省から委託された調査事業の委員を務めています。書店はただの販売拠点ではなく、読者が未知の情報や新しい価値観に出会う場であり、文化創造の基盤でもあります。そして読書することによって、読解力、想像力、共感力、表現力など、さまざまな能力を向上させることができます。書店が元気になれば、出版界もより豊かになります。書店振興のため、具体的な行動を起こしていくつもりなので、ご理解、ご協力のほど、何卒よろしくお願いたします。

私も参加しましたが、昨秋のドイツ・フランクフルトブックフェアには日本から31社が出展しました。令和の時代には、人口減少が続く国内にとどまらず、海外へ打って出ることも必要でしょう。

21世紀に入り、早くも四半世紀が経とうとしています。これまでのやり方、ルールが時代に合わなくなっていることも多々あります。その中で、さまざまな会社や個人、団体がこれまでとは違うチャレンジを試みています。何が正解か、誰にもわかりませんが、苦難の時代を乗り越えた先人たちの見習って、私たちも常にチャレンジを続けていくべきだと思っています。

本年も何卒よろしくお願いたします。(講談社社長)

主な記事

- ▽2025年 新年名刺交換会団体代表「挨拶」……………一〇五
- 野間 省伸・小野寺 優・宮原 博昭・近藤 敏貴・矢幡 秀治
- ▽新春紙上名刺交換……………六十九
- ▽(出版歳時記)乙巳の歳に思う……………二十

新春紙上名刺交換

= 2025年 年頭所感 — 出版人の声 =

年頭所感

本田 正明

明けましてお目出度うございませう。明治二十四年創業の芸艸堂は唯一の木版本出版社として十萬点以上の版木を版木蔵に所蔵しています。又明治期以降の数々の出版本も見直されて多くの愛書家に所蔵されています。現在岩波書店の編集長布川角左衛門と寿岳文章の対談集「本の正座」が布川文庫日記刊行会の出版人の肖像布川文庫日記物語（二月十日発行予定）に掲載されることになりました。初頭に当り皆様にご案内させて頂きました。

(芸艸堂顧問)

三足のわらじと友だち募集

青木 康晋

2024年も生活に変化がありました。Gakken顧問に加え、春から日大で「林真理子理事長サポートスタッフ」をしています。福島県いわき市の東日本国際大では、秋に非常勤の特任教授ながら危機管理・広報担当の副学長になりました。「三足のわらじ」です。本もメールも読まない学生たちとのやりとり、遅まきながらLINEを始めました。友だち募集中。

(Gakken顧問、元朝日新聞 出版社長)

SDGs

工藤 裕樹

新年明けまして、おめでとう御座います。本年もよろしく、御願い申し上げます。タイトルにありますSDGsは、資格のような検査機関は無く、曖昧な考えがでてしまう、例えば本が紙でできているので環境に悪い、だからタブレットを使う等誤解を招いている、タブレットは殆どが石油素材、紙は原料となる樹木が二酸化炭素を吸収し、紙はリサイクルが出来て環境にやさしいのにペーパーレス化と勘違いしているのでは。

(工藤出版サービス代表取締役会長)

科学技術の未来は大丈夫か

志村 孚城

昨年、国際学会に招待され認知症の予防に関する講演のためタイとイギリスを訪問しました。学会の懇親会の席や街中で、日本人に対する対応が一昔前と大きく違って来たのをしみじみ感じました。まず、チャイニーズと聞かれ、次はコアリアかです。産業や科学技術のあらゆる分野でインドは完全日本を抜き去り、タイもインドネシアもこれに続いているのに、日本はマネーゲーム立国を目指していいのですか。

(創生生体医学工学研究所代表取締役)

毎日が日曜日の今

岡崎 満義

毎日が日曜日になってから久しくなる。今、生活のけじめは週2日の体操教室、月2日の歌教室である。生徒はそれぞれ6、7人で和気藹藹とやっている。昭和10年代以降に生まれた男は兵隊にとられることもなく、高齢者になれば体操教室など作ってもらえて、本当に幸運な世代だと思ふ。日本の大問題は少子高齢化だが、そのまっ只中にいて、何か社会にお返しをしなくてはと思うのだが、それが中々思いつかなくて弱っている。

(元文藝春秋編集長)

創造的で楽しい学びの実現へ

南條 達也

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。昨年は、教育の多様化とデジタル化が進む中で、現場の声を耳を傾けながら、教材・サービスの改善に努めてまいりました。本年は「学び」に強い総合出版社として、より創造的で楽しいコンテンツ・IP創出や、国内のみならず世界中の教育課題に応えるための事業改革に注力いたします。子どもたちの未来への力を育み、社会の持続的な成長の一助となるよう、心を新たにに取り組んでまいります。

(Gakken代表取締役社長)

変化に挑戦

伊東 孝

出版業界は全国的にも苦戦が続く書店を余儀なくされる書店や図書館のない市町村が増加傾向です。地域の文化、情報発信の場を守ろうと国を挙げて動き出している厳しい状況の中で本年は社会情勢や世の動きを敏感にキャッチし変化に恐れず対応する勇氣、覚悟を持って挑んでいきたい。厳しさはいつの時代も同じでそれを乗り越え今があり、これからは地域に役立ちお客様に喜びを感じてもらえる一年にしていきたい。

(山十・伊東文具店代表取締役)

新年のご挨拶

日岐 浩和

新年明けましておめでとうございませう。常日頃本づくりを通じてお世話になっております印刷会社で構成される「出版メディア協議会」を代表してご挨拶申し上げます。

昔から巳年は「起点」の年と言われております。世界が不安定さを増すなか、日本、アメリカ共に本格的な新政権での船出の年となります。先が見通しにくいなかではございますが、出版社様の益々のご発展、ご隆盛を祈念いたします。

(東京都印刷工業組合・出版メディア協議会長)

伝統と文化

鳥山 公夫

新春のお慶びを申し上げます。昨年のスポーツヒーローは？OHTANI一択で過言でもないか。がNYとLAの伝統のWSリーズも野球小僧だった私にとっては77~78年を思い出させる。Mr.オクトーバー・R.ジャクソンに対しS.ガービーの強打者対決は庄巻。日本の野球と違いロゴマークも都市名を冠し、ベースボールが土地土地の文化財であることを学んだ。翻って、出版・書店も永く大切な文化財。軌を一にして守っていかねばならない。

(光文社代表取締役副社長)

おかげさまで35周年

寺川 光男

新年あけましておめでとうございませう。光和コンピューターはお陰様で創業35周年を迎えることが出来ました。出版業界の皆様が育てて頂いた会社です。沢山のお教えを頂き、数えきれない経験を重ねて参りました。感謝の気持ちで一杯です。まだまだ未熟な私どもですが、業界にとってなくてはならない会社として歩みたく思います。今後とも精進を続けて参ります。一層のご指導の程、宜しくお願ひ申し上げます。

(光和コンピューター代表取締役)

年頭所感

本田 正明

明けましてお目出度うございませう。明治二十四年創業の芸艸堂は唯一の木版本出版社として十萬点以上の版木を版木蔵に所蔵しています。又明治期以降の数々の出版本も見直されて多くの愛書家に所蔵されています。現在岩波書店の編集長布川角左衛門と寿岳文章の対談集「本の正座」が布川文庫日記刊行会の出版人の肖像布川文庫日記物語（二月十日発行予定）に掲載されることになりました。初頭に当り皆様にご案内させて頂きました。

(芸艸堂顧問)

三足のわらじと友だち募集

青木 康晋

2024年も生活に変化がありました。Gakken顧問に加え、春から日大で「林真理子理事長サポートスタッフ」をしています。福島県いわき市の東日本国際大では、秋に非常勤の特任教授ながら危機管理・広報担当の副学長になりました。「三足のわらじ」です。本もメールも読まない学生たちとのやりとり、遅まきながらLINEを始めました。友だち募集中。

(Gakken顧問、元朝日新聞 出版社長)

読書推進で明るい1年に

高井 昌史

業界全体を挙げての取り組みとなった読書推進運動は年を重ねて根差してきたことを実感しております。学校読書調査によると中学生が1か月に読んだ本の平均冊数は5.5冊であり、調査開始以来最多とのこと。読書の喜びが浸透してきたことを期待します。とは言え、業界の発展にはより一層読書の大切さを訴えていくことが必要です。今年を勝負の年として、明るい1年になるよう一丸となって取り組んで参りましょう。

(紀伊國屋書店代表取締役会長)

2025年頭所感

渡部 正嗣

2025年は中学教科書の改訂年であり、教育出版業界においてビジネスチャンスが期待できる年です。弊社としては、学参・辞典等の販売増強を通じて、業界を盛り上げるべく、エンドユーザー及び書店店頭向けには、動画やオリジナルPOPを活用した売り場活性化施策を、図書館向けには、「教科書に出る本」の改訂を軸とした提案活動を積極的に展開してまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(日教販代表取締役社長)

図書館に思う

児玉 幸彦

昨年、故郷の高校同期から米寿祝の誘いがあり帰省した。戦後間もない頃、市内目抜き通りに書店が6店舗ほどありバイトで働いた。午後3時、駅に貨車が着くとリヤカーを引いて集合し山積みの梱包を店別に整頓、駅員に認印を貰い店頭並べた。文春・婦人4誌等が良く売れた。今は1店も無い。駅近くの図書館は電子化し貸出・返却は画面を押すだけ、館内は手引きカート自由。せめて貸出冊数の数%を印税等版元へ還元して欲しい。

(出版同代会顧問・元双葉社)

心機一転

山口 徳二

あけましておめでとうございませう。昨年9月に代表取締役社長に就任いたしました山口と申します。まだ経験も浅く未熟なところは多々あると思ひますが、ご指導ご鞭撻の程をよろしくお願ひいたします。さて、弊社は本年から本社建て替えのため3年ほどですが慣れ親しんだ飯田橋から本駒込へ仮移転しました。心機一転、出版界のために少しでもお役立てできるよう邁進いたしますので今後ともよろしくお願ひいたします。

(秋田書店代表取締役社長)

絵本と子どものタッチポイント

佐々木 泰

当協議会に事務局がある「子どもの読書推進会議」は「絵本ワールド」を後援している。絵本の販売、読み聞かせや、ゲストの作家も登場する催事だ。2024年度は全国8会場で行われ、福島県須賀川市、徳島県阿波市、兵庫県明石市、和歌山県有田川町などで現場を見させていただいた。地域の交流拠点となっている会場はどこも盛況で、親子の歓声があふれていた。子どもと本をつなぐことの意義をあらためて感じる1年だった。

(読書推進運動協議会事務局長)

年頭の御挨拶

小山 定明

2025年の新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。平素より、矯正施設の被收容者の改善更生や円滑な社会復帰等に御協力いただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。矯正施設の被收容者にとりまして、読書は、教養を高め、情操を豊かにし、その改善更生や健全育成に資するところが極めて大きいものです。本年も、皆様のより一層の御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

(法務省矯正局長)

唯一無二の「図鑑づくり」を

福田 ゆめ子

明けましておめでとうございませう。昨今、季節の到来や終結を昔より慌ただしく感じるのは、四季の境が崩れ「夏」と「冬」の二季になって来ているからでしょうか。その様な中、今年弊社は創立135年を迎えます。また、北隆館が「牧野植物図鑑」を刊行して100周年という節目の年でもあります。このDX化時代に合わせ、私共も変化し続けていく覚悟ですが、同時に明治創業からの唯一無二の「図鑑づくり」を、これからも誠心誠意努めていく所存です。

(北隆館編集部)

感謝

井之上 賢一

新年明けましておめでとうございませう！皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。昨年、長年にわたる教科書業務に携わってきた功績に対して春の黄綬褒章の栄に浴したことは身に余る光栄でした。平成三十年に脳梗塞に罹患し、それから終わりのないリハビリが続いていますが、今年も体力の続く限り努力してまいります。本年も宜しくお願ひ申し上げます。良い年になります様に！

(久美堂代表取締役会長)